

社会的養育推進計画における 障害児入所施設

【障害児入所施設】

区分	施設名	運営法人	主な対象	定員	所在地
福祉型	おかば学園	社会福祉法人 陽気会	知的障害	20	北区有野中町2-5-19
	上野丘学園	社会福祉法人 上野丘さつき会	知的障害	24	北区淡河町東畑75番地
	さわらび学園	社会福祉法人 樅の木福祉会	知的障害	20	西区神出町南字美濃谷619番地19
	おおぞらのいえ	社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団	肢体不自由	20	西区曙町1070
医療型	サポートハウス ココロネ住吉	社会福祉法人 平成記念会		100	東灘区住吉山手7丁目1番1号
	神戸医療福祉センターひだまり	社会福祉法人 芳友		48	中央区日暮通5丁目5-8（地下1階から地上2階）
	神戸医療福祉センターにこにこハウス	社会福祉法人 芳友		85	北区しあわせの村1番9号

「障害児入所施設における支援（ユニットケア）」に関するアンケート

- 実施期間：令和6年7月22日～29日
- 対象施設：障害児入所施設（福祉型） 市内4か所
- アンケートの内容：
 - (1)施設の概要（定員、主な障害種別など）
 - (2)施設のユニット化の現状
 - ①導入している場合：メリットや課題（弊害）等
 - ②導入していない場合：ユニット化ができない理由、ユニット化がなじまない理由
 - (3)現在の障害児入所施設の課題
 - (4)障害児入所施設を運営する法人の意向

(1)施設の概要（定員、主な障害種別など）

区分	施設名	施設の概要（定員、主な障害種別など）
福祉型	おかば学園 ☆	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名 ・主な障害種別 知的障害 ・併設事業 短期入所、日中一時支援（定員6名、空床型）
	上野丘学園	<ul style="list-style-type: none"> ・定員24名 ・主な障害種別 知的障害 ・併設事業 短期入所定員4名
	さわらび学園	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名 ・主な障害種別 主に知的障害 ・併設して障害者支援施設もあるため、居室では児童と成人を区別していますが、共有部分では入り混じっている状況で、支援をしています。
	おおぞらのいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名 ・主な障害種別 主として肢体不自由のある児童 ・併設事業 短期入所（定員4名）、日中一時支援（定員2名）

(2)施設のユニット化の現状

①導入している場合：メリットや課題（弊害）等

- ユニット化を導入することで、実年齢、発達年齢に分けることが出来、小中生、中高生と2ユニットに分けて支援が出来るのがメリットである。
- また小規模グループケアでは、卒業後の進路を見据えての自活訓練が出来るので、導入して良かったと思います。
- 課題は、小規模グループケアで生活している利用児同士の間で性的な問題が起きた場合、当事者同士の生活環境を含めて分けざるを得ない状況になる。

(2)施設のユニット化の現状

②導入していない場合：ユニット化ができない理由、
ユニット化がなじまない理由

- ユニット化する上で職員の確保が難しい、設備の更新が難しい。
- ユニット化の導入には至っていません。
- 20名定員の少人数制の施設であるため。
- 施設の構造上、職員配置等からユニット化は難しい。

(3)現在の障害児入所施設の課題

- 課題は、中学生以上になると、プライバシーや性的な観点から、個室が必要になってくる児童も増えてきており、将来的には改修が必要であると思われる。
- 職員の確保、定員の充足。
- 利用児の重度化が進んでおり、個別の支援が必要なことが増えているが行き届かないことが増えている。
- 職員配置等で、入浴等同性介助が難しい。

(4)障害児入所施設を運営する法人の意向

- 法人としても、将来的には個室化を段階的に進めていく方向で検討しています。ただ、全て個室化するのではなく、一部共用の居住空間を残しながら改修を進めていければと思います。